

漁船の安全性を確保するための研究

漁業生産工学部

研究の背景・目的

1. 高速漁船の就航など、漁船の近代化に伴い、今まで想定していなかった現象を原因とした転覆などの重大事故を防ぎ漁船の安全性を高めることは急務である。
2. 国際的にも漁船の安全性確保は重要視されており、国連の組織の一部である国際海事機構で漁船の安全性を確保するためのガイドラインづくりが行われている。

研究成果

1. 比較的高速で航行する日本の漁船は追波中を航行しているときが一番危険である。
2. まき網漁船の模型船を用いて、追波中の安全性を評価する上で必要な船体に働く力を今まで行われていないような大波高中大傾斜状態において計測した。

波及効果

これらのデータを元に、漁船の安全性を確保するための性能基準、安全に航行するための運航指針などの策定を行う。

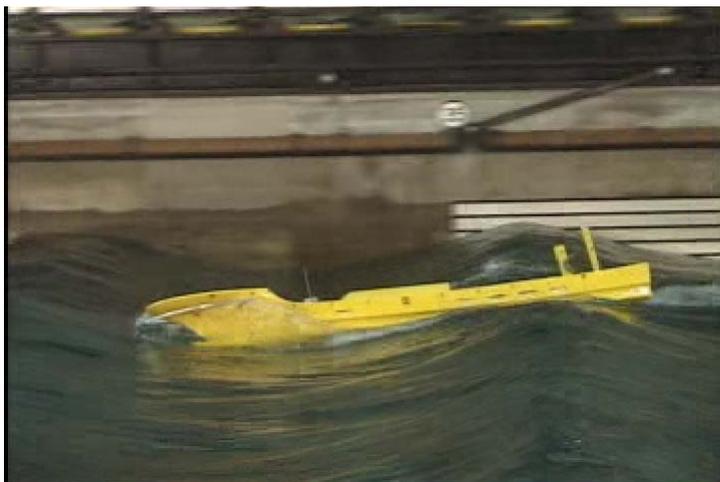


写真: 追波中を高速航行するまき網漁船の模型船



写真: 大傾斜波浪中流体力計測システム

(安全性研究室・松田秋彦, 桃木 勉)